

**原子力システム研究開発事業
事後評価総合所見**

<p>研究課題名：原子力プラント安全性の向上に対応できる高耐食性 EHP ステンレス鋼の適用技術に関する技術開発</p> <p>研究代表者（研究機関名）：中山 準平（(株) 神戸製鋼所）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：滝沢 真（(株) 三菱総合研究所）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：才田 一幸（大阪大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：西本 和俊（学校法人 金井学園 福井工業大学）</p> <p>研究期間及び研究費：平成24年度～平成27年度（4年計画） 395百万円</p>	
項目	要約
1. 研究の概要	<p>原子力プラント安全性の向上に資するため、耐照射性と耐食性に優れたEHP仕様の高Cr-高Ni系の安定オーステナイト系ステンレス鋼(以後、EHP鋼と呼ぶ)を、現行のステンレス鋼等の表面に接合することにより、実機に適用できる複合材料を開発することを目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <p>1) EHP 合金応用部材の開発</p> <p>2) 開発材の環境適用性評価</p> <p>3) 接合技術の評価選定</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>耐照射性と耐食性に優れた EHP 仕様の高 Cr-高 Ni 系の安定オーステナイト系ステンレス鋼を現行のステンレス鋼等の表面に接合することにより、実機に適用できる複合材を開発した。</p> <p>EHP 材の実用化に向けて着実に研究を進めており、高価となることの対策として、クラッド材としての利用が検証されていることも期待ができ、優れた成果を上げたと評価する。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 一部を除き、相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p>